

# 公益財団活動

## 取り組みの背景・考え方

Daigasグループの企業ボランティア活動として1981年(国際障害者年)に始まった「小さな灯」運動等で行ってきた福祉活動を、より組織的、継続的に発展させるために、大阪ガスと関係会社、サービスショップ協会、風呂販売協会の、配管工事協会、工友会協議会の362社が基金を拠出し、創業80周年を記念して大阪ガスグループ福祉財団を1985年10月に設立しました。その活動は、高齢者を対象とした地域福祉活動や大学・医療機関で行われている調査・研究に対する「助成事業」と、高齢者の健康の維持・増進を目的とした「健康事業」です。

また、大阪ガス国際交流財団は、1992年9月に大阪ガスが基本財産を全額拠出して設立し、2010年10月に、内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。財団の事業活動を通じて天然ガス産出国との相互理解をより一層深め、国際貢献に資することを目的に助成事業に取り組んでいます。

## 高齢者福祉-(公財)大阪ガスグループ福祉財団

1985年にDaigasグループ各社の寄付で設立した(公財)大阪ガスグループ福祉財団は、「高齢者を対象とした福祉活動や調査・研究への助成事業」と「高齢者の健康維持・増進を目指す健康事業」を両輪に、近畿2府4県で活動しています。

2022年度の高齢者福祉助成は62件(524万円)、調査・研究助成は14件(988万円)、健康事業は96回実施し、参加者は3,514人でした。



健康事業：健康のつどい



高齢者福祉助成：農業塾講座のための農具助成

### 各活動の実績(1985年～2022年度累計)

(1) 高齢者福祉助成	3,045件	6億91百万円
(2) 調査・研究助成	658件	4億40百万円
(3) 健康事業	6,102回開催	443,790人参加

## 「高齢者向けの健康セミナー」をYouTube配信

2021年度ホームページのリニューアルにあわせて、動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」を制作、YouTube配信を開始しました。今後も高齢期の健康づくりに活用できる内容を毎年配信していきます。



動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」

## ステークホルダーコメント

### 地域共生社会の実現に向けて

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会  
地域福祉・ボランティア振興課 課長 北尾 尚子 氏



貴財団におかれましては、1985年より、高齢者を対象とした福祉活動や高齢者の社会参加を支援する活動等への助成を通じて高齢社会における地域づくりに尽力されておられますことを心から敬意を表します。

昨今、地域を取り巻く環境もめまぐるしく変化するなか、顕在化した地域住民が抱える課題をいかにキャッチしていくのが大切であり、専門職だけでなく、地域住民や地域活動者の協力が必要不可欠となっております。

また、2023年度から新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことにより、地域における居場所・つながりづくりの取り組み等が再開され、これまで以上に多様性を尊重する地域文化の醸成がなされるとともに社会福祉協議会においてもWITHコロナ社会を見据えた地域福祉活動の推進に取り組んでまいります。

助成いただきました京都府内の団体におきましても、高齢者サロン等での交流や外国籍の方を対象とした居場所づくりや異文化交流等を通じて、誰もが安心して生活することのできる地域づくりを推進されているところでです。

本会においても第5次中期計画の基本理念である「つながりをいかしてだれもが尊厳をもっていけることができる社会をつくる」ことを目指し、努力してまいりますので、今後とも地域福祉の増進にご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 国際貢献-(公財)大阪ガス国際交流財団

### 天然ガス産出国との友好と相互理解を深める

(公財)大阪ガス国際交流財団は、南東アジアおよび大洋州地域の天然ガス産出国との国際相互理解の促進と国際親善への寄与を目的として助成事業を展開しています。2022年度、インドネシアでは、小中学校への教育機材助成、300人の学生・生徒への奨学金支給、3大学におけるエネルギー・環境分野の研究への助成、大学院生4人を対象とした日本での短期研修など、計約1,462万円を助成しました。マレーシアでは、英語教育支援、試験研究助成、大学生12人への奨学金支給など計約522万円を助成し、東ティモールでは、30人の大学生への計約205万円の奨学金を支給しました。当財団は設立30周年を迎え、助成総額約5億9,011万円、奨学金支給人数10,494人、助成対象研究テーマは438件となる、これまでの助成活動を振り返るとともに、理事長の対談、現地学生とのオンライン会議を開き、今後の活動の方向性についても検討を深めました。



インドネシア大学大学院生の日本語研修でガス科学館を見学



マレーシア教育省での打合わせの様子

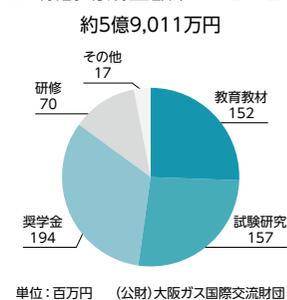


東ティモール大学への贈呈式

### ■ 助成活動範囲



### ■ 累計助成金額(1992~2022年度)



### ■ 助成金の推多(単年度)

(単位:千円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育機材	2,512	1,878	1,873	1,760	1,973	2,115
試験研究	5,888	5,401	5,172	5,049	5,332	6,935
奨学金	8,483	6,558	8,092	7,737	8,512	9,564
研修	4,592	3,212	3,175	371	313	3,281
合計	21,475	17,049	18,311	14,917	16,129	21,895